

# ありんこ親子保育園 保育対応マニュアル

制定日：令和7年8月12日

## 第1章 目的

本マニュアルは、ありんこ親子保育園において、園児の発達段階や個別のニーズに応じた保育対応を統一し、園児の健やかな成長と安全・安心な園生活を保障するための基本方針と具体的対応方法を定めることを目的とする。

## 第2章 基本方針

- 一人ひとりの子どもの発達や家庭状況に応じた柔軟な保育の実施
- 園児の心身の安全を最優先とする対応
- 保護者との日々の連携・信頼関係の構築
- 保育士間での情報共有と統一対応の徹底
- 地域・関係機関との協力による包括的支援

## 第3章 日常保育の基本対応

### 1. 登園時対応

- 毎朝、園児と保護者の表情や会話から体調・気分を確認する

#### 【詳細対応手順】

- 保護者からの申し送り内容（体調・食欲・排泄・睡眠）を必ず確認。
- 園児の顔色・動き・声の調子から健康状態を観察。
- 37.5°C以上または平熱より1°C以上高い場合は登園を見合わせるよう依頼。
- 保護者と職員は入室前に手洗いまたはアルコール消毒を行う。

- 健康観察票や連絡帳の記載内容を確認し、気になる点があれば聞き取りを行う

### 2. 活動時の配慮

- 年齢や発達段階に応じた遊びや活動を設定する

#### 【詳細対応手順】

1. 活動内容は園児の年齢・発達段階に応じて安全性を確保して設定。
  2. 屋外活動時は水分補給時間を事前に設定（夏季は15～20分ごと）。
  3. 園庭や遊具の安全点検を毎朝行い、危険箇所は使用禁止にする。
  4. 活動中は園児の死角を作らず、必ず視野に入るよう職員配置を工夫する。
- 活動中は常に安全面に配慮し、危険箇所や行動への注意を怠らない

### 3. 食事・おやつ対応

- 食事前後の手洗い・うがいを徹底

#### 【詳細対応手順】

1. 提供前にアレルギー対象児の献立を再確認し、誤提供防止のダブルチェックを行う。
2. 食事介助は座位を保ち、誤嚥防止のため少量ずつ提供。
3. 配膳前後に机・椅子を消毒。
4. 食後は口腔内を確認し、うがい・歯磨きを促す（年齢に応じて補助）。

- 食物アレルギーを持つ園児には、アレルギー対応マニュアルに基づいた提供を行う

### 4. 午睡・休息

- 午睡中は5～10分ごとに呼吸や体勢を確認

#### 【詳細対応手順】

1. 午睡前に必ず排泄・水分補給を確認。
2. 入眠後は5～10分ごとに呼吸・顔色・寝姿勢を確認。
3. うつ伏せ寝は仰向けに直す。
4. 室温・湿度を定期確認（夏26～28°C／冬20～22°C、湿度40～60%）。
5. 午睡終了10分前にやさしく声掛けして起こす。

- 必要に応じて静かな環境づくりや体温調整を行う

※詳しくは、午睡マニュアルを参照。

### 5. 降園時対応

- 1日の様子や出来事、体調変化を保護者に口頭または連絡帳で伝える

#### 【詳細対応手順】

1. 1日の活動内容や園児の様子を保護者に口頭で伝える。
2. 発熱やけがなどの異常は必ず記録し、口頭と連絡帳で報告。
3. 保護者からの質問・相談には可能な範囲で即時対応し、必要に応じて園長・主任へ引き継ぐ。

- 不安や相談事があれば時間を持って対応する

## 第4章 緊急時の保育対応

- 事故やけが発生時は「事故・けが対応マニュアル」に従い応急処置と連絡を行う
- 体調急変時は速やかに保護者へ連絡し、必要に応じて医療機関へ搬送
- 災害や不審者対応時は「防災マニュアル」に従い、園児の安全を確保する

## 第5章 情報共有と記録

- 連絡帳、日誌、申し送りで園児の様子や対応を共有
- 気になる行動や発達上の変化は記録し、必要に応じて主任や園長へ報告
- 保護者からの要望や連絡は記録し、全職員で共有

## 第6章 職員研修と保育スキル向上

- 年2回以上の保育技術・発達支援に関する研修を実施
- 新任職員には入職時に保育対応マニュアルの説明と実地指導を行う
- 定期的な事例検討会を行い、対応の改善を図る